

# カトリック教会は なぜ死刑廃止を目指すのか

前教皇フランシスコは「教会は福音の光のもとに死刑は許容できません。人格の不可侵性と尊厳への攻撃だからです」と教え「全世界で死刑が廃止されるために努力します」と表明しました。世界で死刑廃止国は100カ国を超え、2024年にはカトリック信徒で冤罪死刑囚だった袴田巖さんに無罪判決が出ました。神が授けた生命を奪う「死刑」の問題について専門家をお招きして学びます。

講師： 柳川 朋毅さん

イエズス会社会司牧センター職員

上智大学大学院修了後、中高講師等を経て現職。直接的暴力（戦争・犯罪・虐待など）や構造的暴力（貧困・差別・環境破壊など）により「生きづらさ」を抱える方々と共に歩みながら、社会正義と和解の促進のために働いている。特に死刑廃止をライフワークとし「死刑を止めよう」宗教者ネットワークの代表等を務める。



〈講師からのメッセージ〉

なぜカトリック教会は死刑廃止を訴えるのか、なぜ日本で死刑がなくならないのか、共に考えましょう。

日 程

2026年2月28日（土）

参加無料

時 間

13:30～16:30

（事前申込み不要）

会 場

大名町カトリック教会 講堂

〒810-0041 福岡市中央区大名2-7-7（西鉄グランドホテル前）

概 要

- ・世界の死刑廃止状況と課題 他
- ・〈発題〉「飯塚事件と冤罪の恐怖」澤田愛子さん  
（生命倫理・ホロコースト研究者／西新カトリック教会）他

お問い合わせ

カトリック福岡司教区社会福音化委員会 正義と平和・人権部門  
TEL 090-6775-4268（青木） 070-6594-5716（増井）  
【ホームページ】 <https://fukuoka.catholic.jp/>

主催：カトリック福岡司教区社会福音化委員会 正義と平和・人権部門